

3 R イニシアティブ国際推進費

1 4 4 百万円 (1 0 3 百万円)

廃棄物・リサイクル対策部 企画課

1. 事業の概要

3 R (リデュース、リユース、リサイクル) イニシアティブの推進について、我が国が G 8 議長国となる平成 2 0 年 (2008 年) を目指して、以下の事業の実施により国際的なリーダーシップを発揮する。

・アジア各国の 3 R 推進のための政策対話・計画/ビジョン策定支援協力
アジア各国において 3 R を推進するための計画/ビジョンの策定を支援する。また、シンガポール等と協力して東アジアにおける 3 R 政策対話を実施する。

・ 3 R に関する技術移転の推進

3 R に関する技術・システムの情報をデータベース化し、アジア開発銀行や国連環境計画と連携して情報拠点を構築する。

・アジア資源循環研究推進事業

アジアにおける 3 R ・廃棄物管理の研究者・専門家間での連携を目的とした研究ネットワークを形成する。

・ (新) 3 R 行動計画案策定調査

平成 20 年に日本で開催する G 8 サミットを念頭に 3 R 行動計画案を策定する。

・ (新) 3 R イニシアティブ高級事務レベル会合の策定

3 R イニシアティブに関する具体的な取組について議論するために、3 R イニシアティブ高級事務レベル会合を開催する。

・ (新) 3 R 技術国際展開実現可能性調査

我が国が有する 3 R 技術・システムの国際展開を図るべく、処理困難物を我が国の技術を用いて無害化し希少金属を回収する取組について、環境の影響を含めた実現可能性調査を行う。

2. 事業計画

	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	事前調査	政策対話	計画策定	3カ国の事業を 3グループに分けて実施	
			東アジア 政策対話		
	データベース作成		データベースの管理・情報拠点の構築		
	研究ネットワークの形成				
			計画案策定	G8サミット	フォローアップ
	高級事務レ ベル会合			高級事務レ ベル会合	
			実現可能性調査実施		フォローアップ

3. 施策の効果

平成20年に日本で開催するG8サミットへ向けての3Rイニシアティブの
更なる推進

政策担当者レベル、研究者レベルでのアジア各国間の連携の強化

3Rに関する国際的な研究の推進による科学的基盤の強化

我が国の先進的な3R技術・システムの国際的な展開

3 R イニシアティブ国際推進費

課題

- ・ 廃棄物の発生が増大と質の多様化による不適正な処理
- ・ 循環資源の越境移動の活発化による国内外の廃棄物処理・リサイクルシステムへの影響
- ・ 資源価格の高騰

基本的な考え方 (平成18年版循環型社会白書)

国際的な循環型社会を構築するために、

まず各国の国内で循環型社会を構築し、

廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し

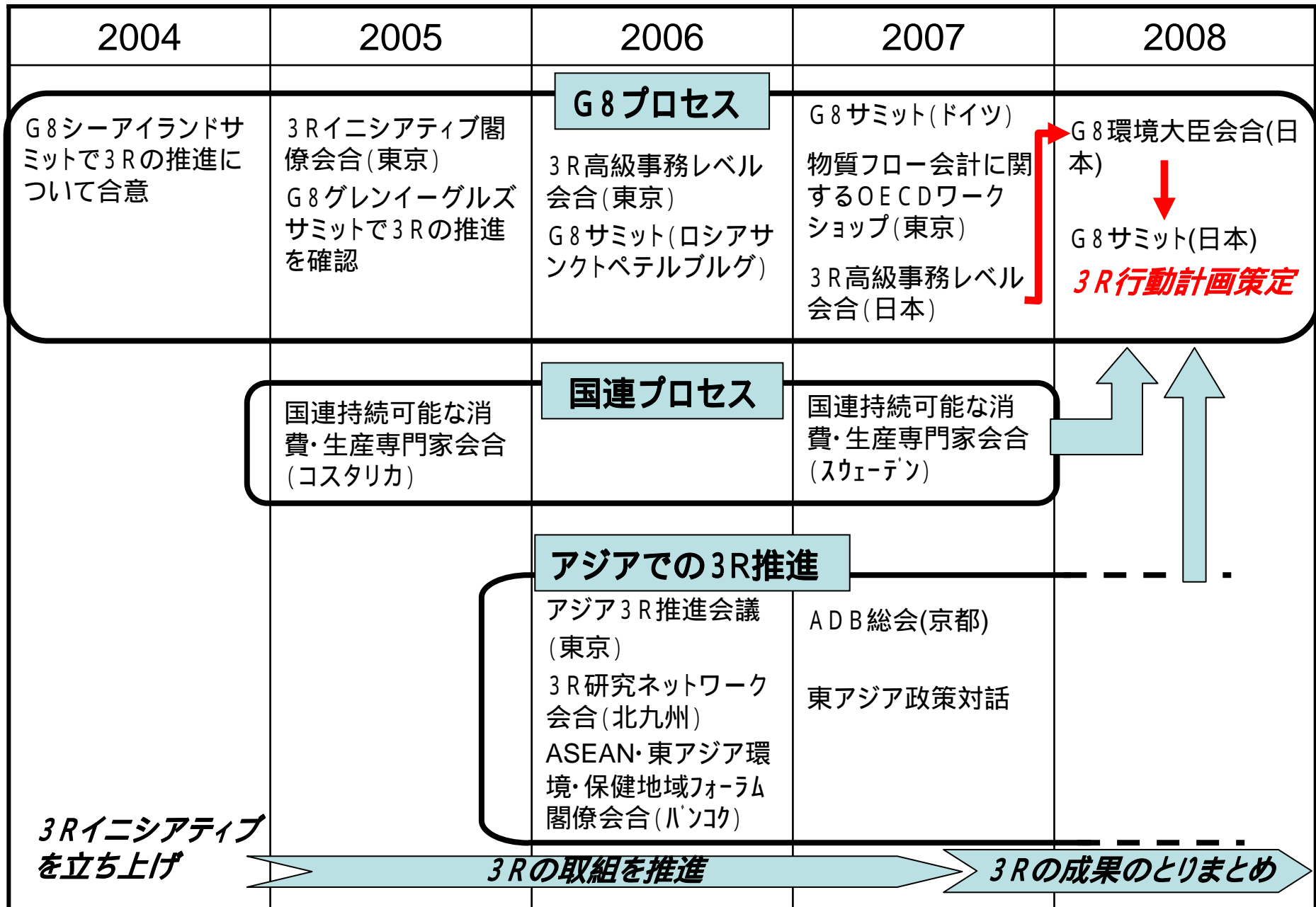
その上で循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

我が国は、G8議長国となる2008年を目指して3 R イニシアティブの推進に向けてリーダーシップを発揮

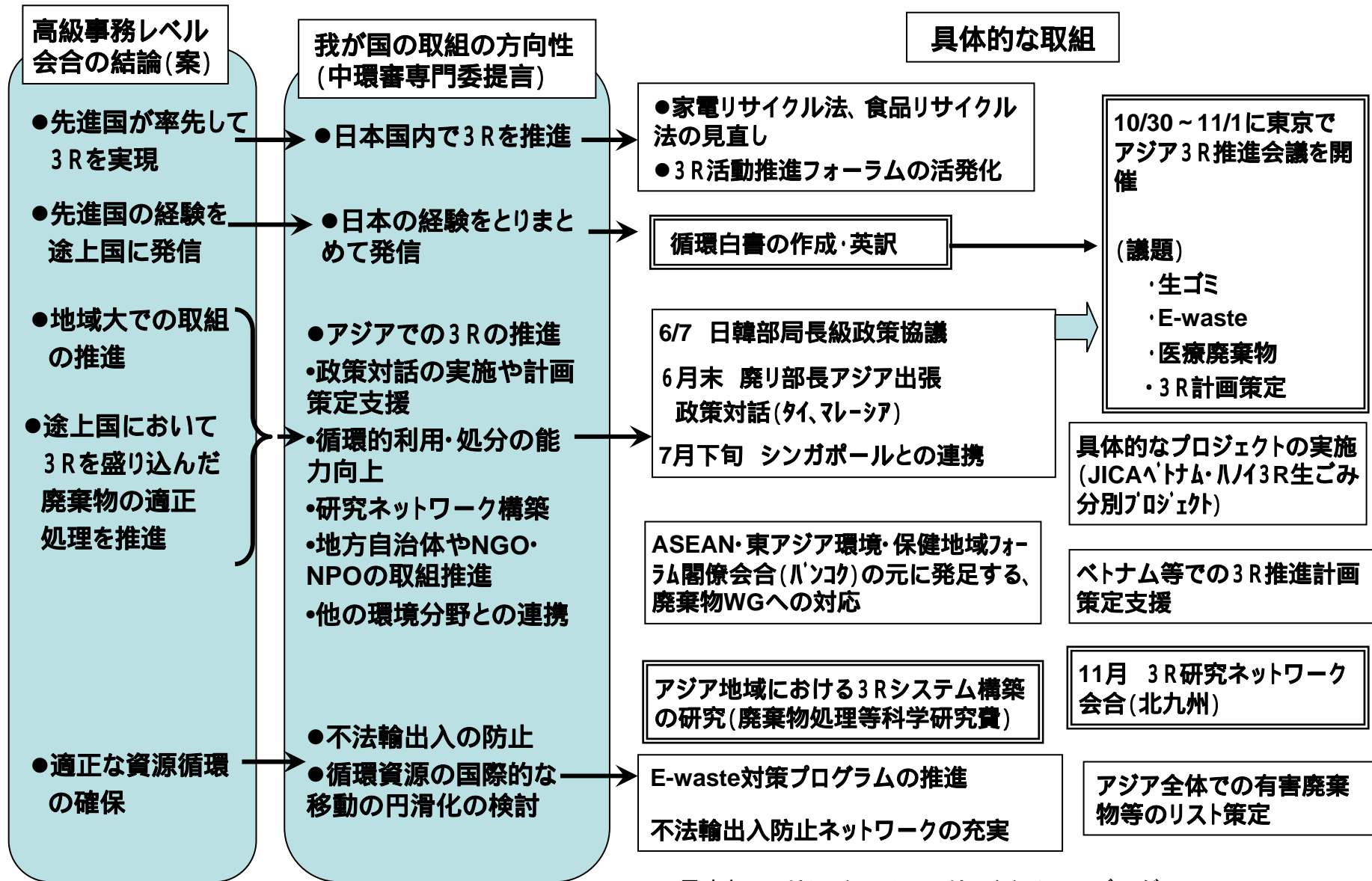
具体的な取組

- ・ アジア各国における3 R 推進計画/ビジョンの策定支援
- ・ 東アジア3 R 政策対話の実施
- ・ 3 R 技術・システムに関する情報拠点の構築
- ・ 3 R に関する研究者・専門家のネットワーク形成
- ・ バーゼル条約を基盤とした、廃棄物の不法な輸出入の防止対策（別掲）
- ・ 循環資源の越境移動において環境保全を確保するためのフェージビリティ調査の実施
- ・ 3 R イニシアティブ高級事務レベル会合の開催（2007年）
- ・ 3 R 行動計画案の策定

3Rイニシアティブ国際展開の戦略(案)



2006年における3Rの展開



・7月中旬G8サミット(ロシア・サンクトペテルブルグ)
 ・APEC首脳会議(2006年11月、タイ・バンコク)

